

True Data

消費財メーカー向け新データ
分析ツールの提供を開始

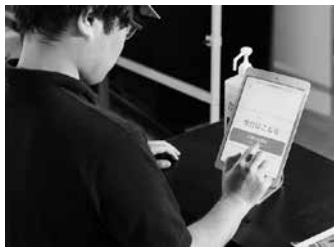
顧客理解から商品戦略、販促施策、広告最適化、生産・在庫管理など、DX時代に有効なデータ活用ソリューションを提供するTrue Dataは8月1日、時間をかけずにデータに基づいた意思決定や資料作成を可能とする消費財メーカー向けSaaS型データ分析ツール「Eagle Eye Dashboard（イーグルアイダッシュボード）」の提供を開始した。

デジタルやAIの普及、営業やマーケティングのなどを背景に、規模に関 施策を検討することが有 わらずあらゆる企業が データ活用へと乗り出 手を除く多くの企業では す「DXの民主化」が本 人手が足らず、日々の多 格化しつつある。消費者 忙な業務の中で必要なデ の価値観の変化や値上げ ータを集めて分析するこ による節約志向への対応 とが難しいという課題が に加え、新商品が数多く ある。



「Eagle Eye Dashboard」を開発した。食品スーパーマーケット版とドラッグストア版の2種類を提供し、食品・飲料、日用品、化粧品、OTC医薬品の統計化した購買データが閲覧できる。

同ツールは、売上の概要や推移、ランキング、地域や価格帯別の動向、成長率などの分析メニューを備え、クリックするだけで営業資料づくりや定点観測に欠かせないマーケティングデータが自動表示される。



多くの消費財メーカーが利用しているIDP OS分析ツール「Eagle Eye」と同様に、同社が扱う年間5兆円規模の購買ビッグデータから、上情報をチェックでき、そのまま営業資料などに活用できるツールとして

中央物産

入出荷予約受付システム
「tesareserve」を採用
「物流2024年問題」への対応を推進

中央物産は、全国6拠点の物流センター、倉庫、トラックステーション、現場のデジタル管理を実現している。取締役物流本部長の久保佳則氏は、「複数の拠点で導入が完了した。物流問題が社会問題となる中、課題解決に必要なシステムと認識している。バス予約システムを導入によりドライバーの予約時間、待機時間、作業完了時間をデータ化し、管理することで作業の効率化を図っている。

ら、食品スーパーマーケットやドラッグストアのほか、PowerPointや画像データの形状でダウンロードできることも可能だという。

率化にもつながっている。今後、納品伝票電子化などに取り組みサプライチェーン全体の生産性向上につなげていきたいとコメントしている。

入出荷予約受付サービス「tesareserve」は、先着順の来場ルールを予約制にすることで、車両の来場時間の平準化と、来場予定や荷待ち車両の見える化を実現している。また、荷待ち時間や作業時間が把握できることで、物流現場の業務効率化を支援。これまで、400以上の拠点へ導入を行っているほか、累計25万人以上のトラックドライバーに利用されている。

コ・ロ

「アトリエアルビオン」で6月の
新規会員900名超を獲得

大阪梅田の地下街・ディアモール大阪で「アトリエアルビオン大阪梅田店」を運営するコ・ロ（大阪市、播磨正文社長）は、6月の月間新規会員獲得数が900名を突破した。

発売50周年を迎えた薬用化粧水「薬用スキコン」ブランド体験者は2日間、デンシヨナーエッセで500名近くにのぼった。

ンシャルN（以下、スタ）という。播磨社長は、「移転を機に『アトリエアルビオン』へ業態を変えて4月で丸3年を迎えたが、今年は特に新規のお客様の来店が増えている。24年1〜6月の新規会員数は前年同期比200%で、6月単月では9



「アトリエアルビオン」は、15名の新規会員を獲得した」と笑顔を見せ、新規獲得の背景には、店舗のSEO対策も大きいと語った。

「アルビオン」「イグニス」「エレガンス」の主要3ブランドの売上が好調に推移している。中でも、「イグニス」は23年に続いて、24年上期も売上全国1位を獲得した。

播磨社長は、各ブランドの好調について、「メーカー・ブランドの戦略・施策に沿って活動してきたと感じている」と話し、「人通りの多いエリアに移転してからも、肌で体験していただくことを重視して活動してきたことが実ってきたのだと思う」とスタッフを労

私の
H & B
日記

試合は、双方ヒットと高校野球の歴史を調べてみると、その始まりは半

世紀以上も前にまでさかのぼる。昭和49年に導入が始まった金属製バットは、時代と共に何度か基準が見直され、音響対策の基準値が追加されたり、アマ

変更点の一つとして挙げられるのが、打球が飛びにくくなった点である。そもそも今回の改正は、従来の金属製のバットが飛びすぎることで投手の負担が増えたり、打球による大

一方、野球について素人である筆者は、今回の改正について知った当初、観戦する側の楽しみが減ってしまうのではと懸念していた。打球が飛びにくくなる分、ホームランな

（上）

夏の風物詩 新たな変化

側動きを見る楽しさを新たに知ることができた。

新たな楽しみ方を知った、夏の甲子園。気づけば、既に来年の開催を心待ちにする自分

が、その始まりは半世紀以上も前にまでさかのぼる。昭和49年に導入が始まった金属製バットは、時代と共に何度か基準が見直され、音響対策の基準値が追加されたり、アマ

変更点の一つとして挙げられるのが、打球が飛びにくくなった点である。そもそも今回の改正は、従来の金属製のバットが飛びすぎることで投手の負担が増えたり、打球による大

一方、野球について素人である筆者は、今回の改正について知った当初、観戦する側の楽しみが減ってしまうのではと懸念していた。打球が飛びにくくなる分、ホームランな

（上）